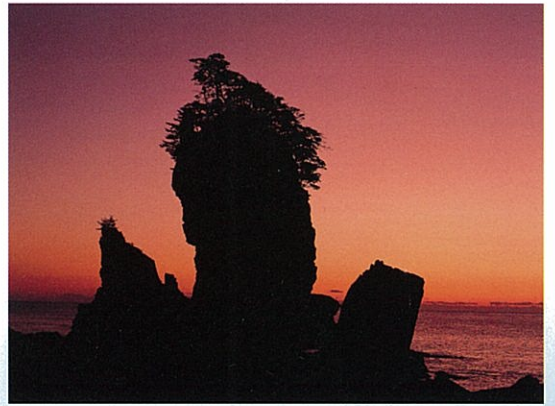


印象派の旅

陸中海岸 宮古 国立公園

<http://www.city.miyako.iwate.jp/>



美しい自然の
芸術に魅せられる

四季の移ろいと

時の流れに遊ぶ

波と風が造る絶景の美

東経142度4分21秒、

本州最東端の地へ

ここは、鮎が遡る清流

光と戯れ、森と語ろう

冬の宮古に、たつぷり浸る

宮・古・食・彩・紀・行

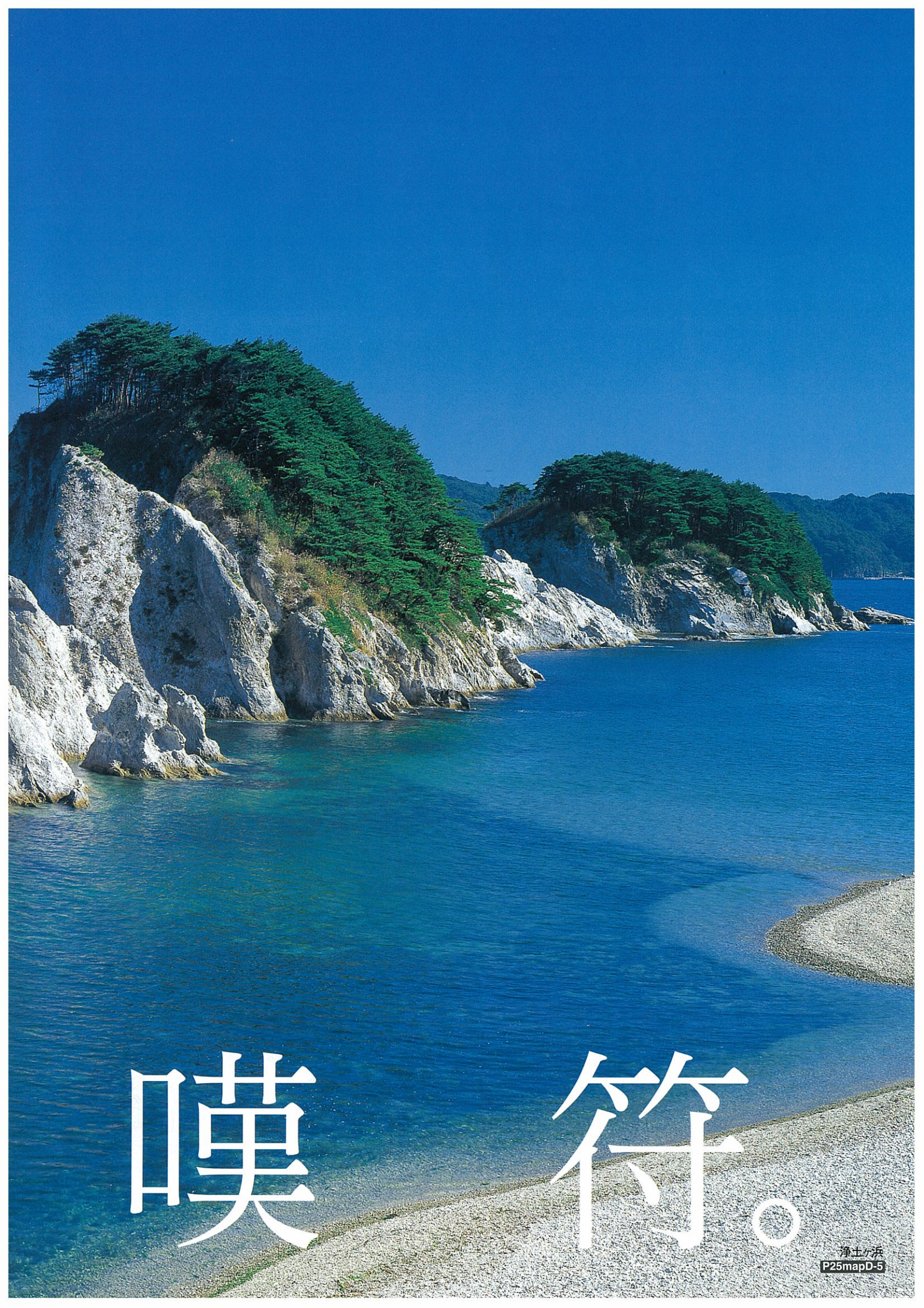
海を讀める、熱き祭

宮古の歴史と文学にふれる旅

〈日本史の英雄 義経北行伝説

海・川・山・里で遊ぶ、感じる





嘆符。

海に響く都市・宮古

はてしなくひろがる海岸線
つながる陸と空の蒼
海 森 山 川
観るものすべてが
深くしなやかに心に語りかけてくる
印象派の旅へでかけませんか
心ゆくまま思いのままに
ゆるやかな時をとどめる
懐かしい宮古へ
遠くに響く潮騒を聴きながら



旅、感



美しい自然の芸術に魅せられる

悠久の時に思いを馳せる浄土ヶ浜

P25mapD-4

真っ白な砂浜とどこまでも青くひろがる穏やかな海。そして、そこにそびえる切り立った石英粗面岩との対峙は、色彩も形もまさに自然の造型美の極致であり陸中海岸の白眉。十七世紀に宮古の賢人霊鏡和尚に「さながら極楽浄土のごとし」と比喻されたことから「浄土ヶ浜」と名付けられた。

四季の移ろいと時の流れに遊ぶ



豊かな緑と憩う臼木山

P25mapD-5

浄土ヶ浜の南方に構える臼木山は、宮古湾を一望する絶景の地として、親しまれている。また、季節により咲き誇る花々も名物の一つであり、古くからの桜の名所としても知られている。4月中旬には、薄紫のカタクリの群生が大地を多い、下旬からは100種800本の桜が空に舞う。そして、5月になると可憐なつつじが紅の絨毯の様に咲き乱れ、訪れる人々を出迎える。



ゆるやかな時が 流れる浄土ヶ浜

四季の移り変わりににより、様々な景色を魅せる浄土ヶ浜。夏の穏やかな波の打ち寄せる浜辺は、多くの人々で賑わう海水浴場にもなり、風景と遊びを十分に楽しめる。また、時間の経過とともに変わる海面と岩礁の色調の変化をゆつくりと眺めるのも、浄土ヶ浜での過ごし方の醍醐味の二つ。寄せては返す波に心が充たされてゆく。



奥浄土ヶ浜への一般車両の 乗り入れについて

浄土ヶ浜ターミナルビル前→奥浄土ヶ浜→第3駐車場の車道（一方通行です）は、4月から10月までの間は許可車両・タクシー・大型バス以外の一般車両の乗り入れ禁止です。また、夜間（18:00～8:00）は年間を通じて乗り入れできません。障害者や高齢者で歩行が困難な方が乗車している場合は、ターミナルビル前の係員に申請すれば通行許可証が発行され、車両の乗り入れができます。（市観光課でも発行しています。）
〈問い合わせ先〉宮古市観光課（TEL.0193-62-2111）



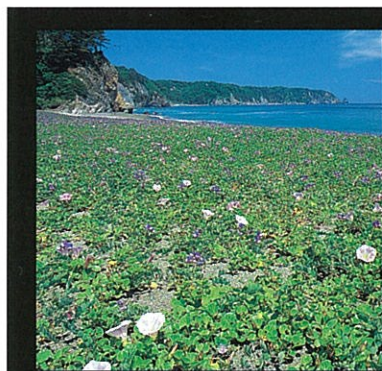
波と風が造る絶景の美





ウミネコの楽園「佐賀部」 P25mapE-3

田老港の南側に位置する佐賀部は、切り立った断崖が連なり、点在する大小三十余りの岩礁群に囲まれた景勝地の一つ。また、地域一帯は、ウミネコの繁殖地として県の天然記念物にも指定されており、その啼き声は絶えず訪れる人を賑やかに迎えてくれる。



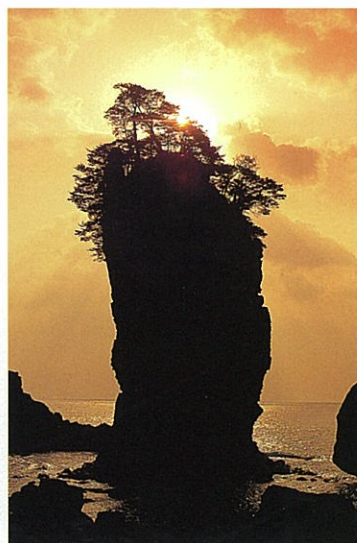
海辺のオアシス

「真崎海岸」 P25mapE-2

およそ2kmにも及ぶ海岸線と、周辺に咲くハマナスやハマユリなど季節の花が訪れる人をもてなす、陸中海岸でも有数の海水浴場。海釣りや海鳥の観察スポットとしても最適で、近くには真崎灯台や展望台、近隣には沼の浜キャンプ場などがあり、みどころも豊富。

海水浴期間：温水シャワー、更衣室、売店

今から約一億四千万年〜七千万年前の時代。恐竜がまだ生きていた頃の白亜紀に誕生したといわれる奇岩、三王岩。並んだ三つの巨岩それぞれには名前があり、中心が高さ五〇メートルの男岩。左側が女岩、右側の丸い岩が太鼓岩といわれている。



太古の時を今に残す 「三王岩」



東経142度4分21秒、本州最東端の地へ

旅情に浸る「とど鯧ヶ崎」

潮の香に誘われるままに、重茂半島の自然歩道を姉吉キャンプ場から東へ徒歩一時間ほどで、果てしなくひろがる蒼い海と入り組んだ入り江がみえてくる。本州最東端の地鯧ヶ崎に辿り着く。打ち寄せる波濤とうみねこの啼き声、隔てるものは何もない此の場所は訪れる者のすべてを受容れる。日常の喧噪から逃れ、自身の原点に還る時。そして、それは、神々しい朝陽に照らされる母なる海との邂逅の時。



本州最東端訪問証明書 旅の記念に...

本州最東端に訪れた証明書は、宮古駅前の観光案内所・浄土ヶ浜の宮古観光協会窓口で入手可能。(1枚:100円)



天空の地「月山」 P25mapE-5

標高456mの絶景スポット月山。別名御殿山とも呼ばれる山の頂きにある展望台からは、海岸沿いに隆起を繰り返しながら線を描くリアス式海岸と入り江の向こう側の浄土ヶ浜や大平洋に浮かぶ日岬島を眺望できる。



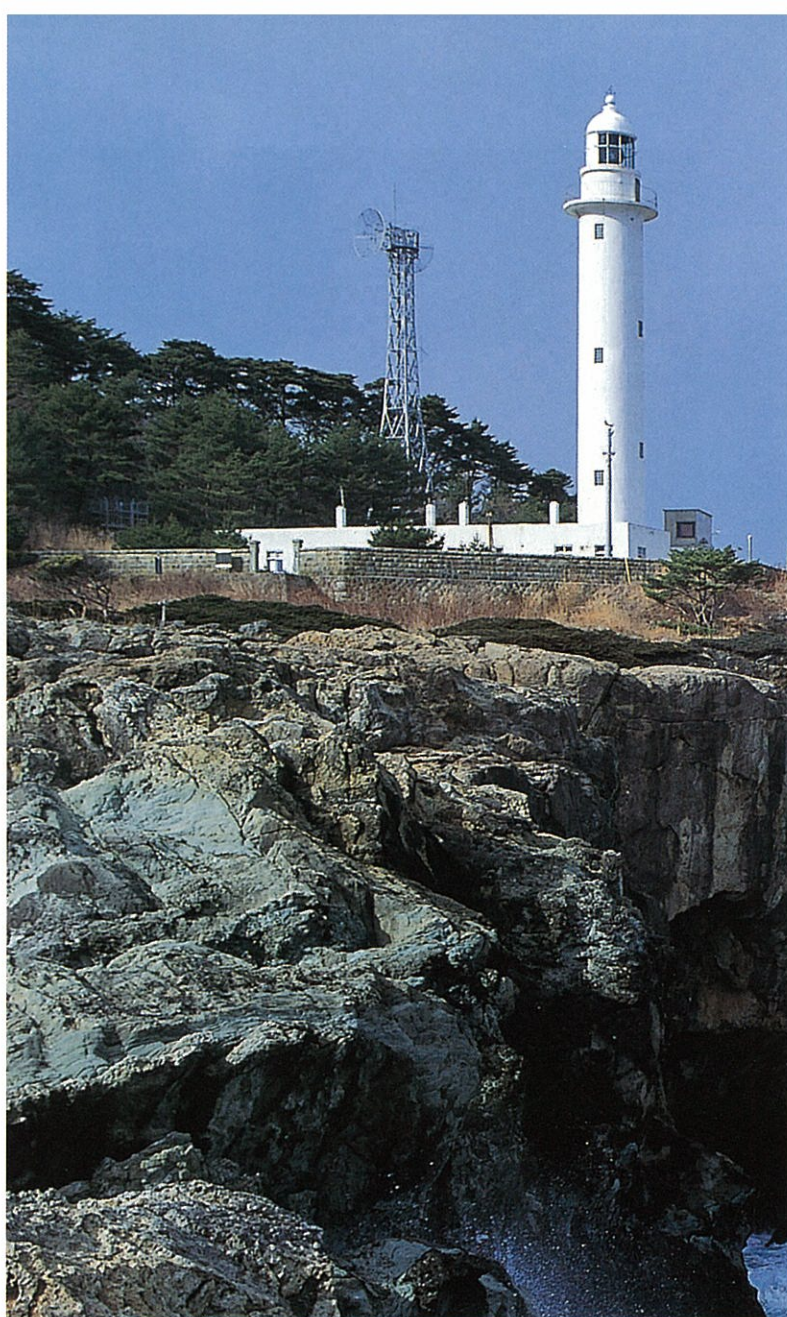
〈施設〉展望台



十二神山自然観察教育林 【森林浴の森・日本100選】

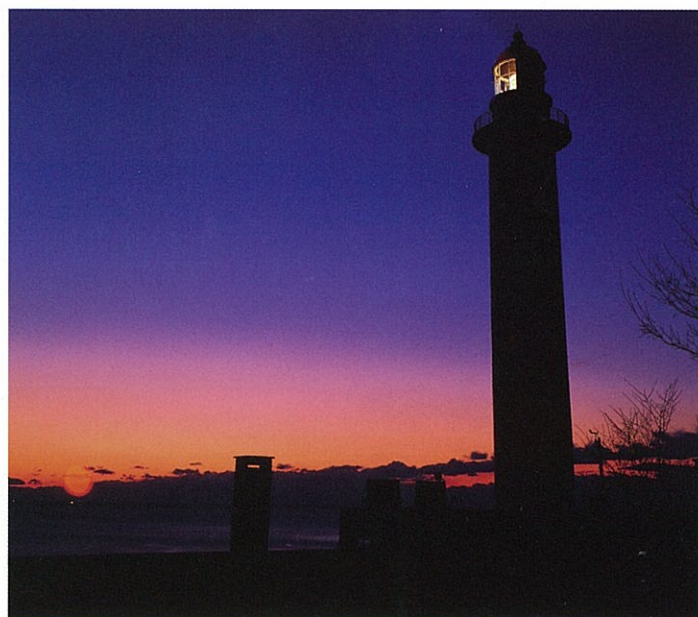
P25mapD-7

高さ731mのこの山々は、重茂半島の最高峰。指定区域にあたる、東斜面120.32ha一帯には、清冽な清水をたたえる溪流と溪谷があり、一面を豊かな緑におおわれている。主にブナ・スズタケを始めとする、ナラ、ケヤキ、トチなどの樹木が生育。種類の多さと、樹齢150年を超える巨木も現存し太平洋沿岸で最も天然の姿を宿す森林といわれている。



心が灯す白き灯台「鯨ヶ崎灯台」 P25mapF-7

重茂半島の東端に近づくにつれゆるやかに鋭角をなしていくと岬がみえてくる。その先端にそびえるのは、重茂半島のシンボルである鯨ヶ崎灯台。明治35年に建てられたこの灯台は、被災に見舞われながらも百有余年もの間、航海の安全を祈り穏やかなあかりを灯し続ける。



往年の映画「喜びも悲しみも幾歳月」 ゆかりの地

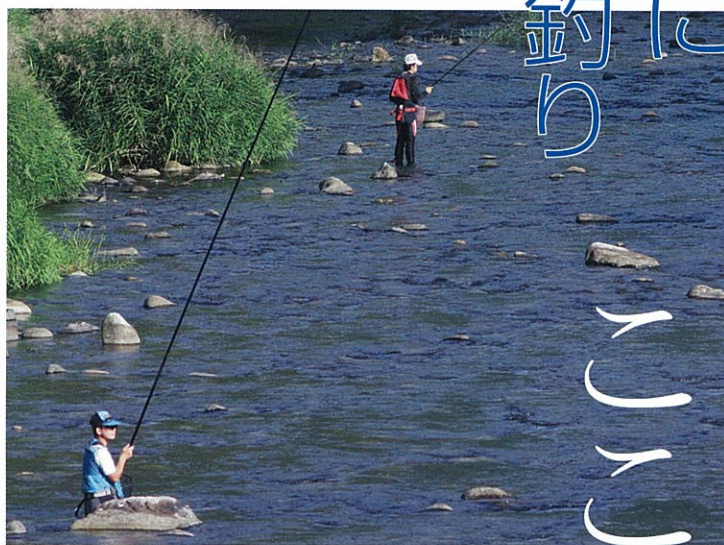
鯨ヶ崎灯台の歴史を振り返った時、そこには灯台の灯火を守り続けた人々のたゆまぬ努力があった。一九五七年には戦前・戦後を通じ永きに渡り鯨ヶ崎灯台で過ごした灯台守の妻である田中キヨさんの手記をもとに映画「喜びも悲しみも幾歳月」（木下恵介監督）が製作された。そこには、北の地で夫婦が共に悩

みながらも助け合い絆を確かめあつた姿が描かれている。灯台には平成八年三月まで航路標識事務所の職員が常駐していた。灯台南側の断崖三〇mの場所に残る、本州最東端の碑（キヨさんの筆によるもの）が静かに此の地を守り続けた人々の強い絆の証を伝える。

本州最東端の碑

せせらぎに 集う溪流釣り

春三月、清流に柔らかな陽射しが注ぐ頃、溪流釣りが解禁。宮古湾に注ぐ閉伊川は、太公望で賑わいを増す。三〜九月には、イワナやヤマメ、ルアーで狙うサクラマス・アメマス、そして七月から秋まではアユと多様な溪流釣りが可能だ。樹々に囲まれ自然に守られたこの清流は、自然散策やハイキングにもおすすめのスポットだ。



川に遊ぶ



毎年春に解禁される溪流釣りを皮切りに、宮古市内を流れる閉伊川ではさまざまなイベントが催される。

●閉伊川鮎釣り選手権＜7月下旬～8月上旬＞

各地から集まる鮎釣り名人の妙技に感心!

●閉伊川カヌースラローム大会＜9月第1土曜日＞

水しぶきをあげて、緩急と傾斜をくぐり抜けるレースはスピードとバランスが命。

●閉伊川川下り大会＜9月第1日曜日＞

柔軟になるゴムボートでの川下りは、ダイナミックな波のうねりを体感できる。



閉伊川

は、鮎が遡る清流



光と戯れ、 木林と 語ろう

海抜九〇〇mに位置し、晴れた日には早池峰山を中心とする北上高地や太平洋を一望できる。山腹を一面のブナやダケカンバの森に覆われ、足下にはなだらかな芝生が一面に広がる源兵衛平高原。春には肥沃な土壌の恵みを楽しむ山菜採り、夏はキャンプやピクニック、秋は紅葉やきのこ狩りが楽しめる。

◎休憩施設・炊事施設・ファイヤーサークル

源兵衛平高原

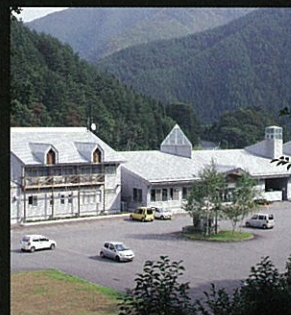


アウトドア派に
おすすめ!

総合レクリエーションパーク 「リバーパークにいさと」

P25mapA-5

豊かな森林に囲まれた10haにおよぶ広大な敷地の中に、オートキャンプ場や運動場が併設。ここでは、さまざまな体験を楽しめる。例えば、付近の開伊川でのカヌー体験や釣りなど自然の中で本格的なアウトドア感覚を味わえる。



●宿泊交流施設「湯ったり館」

人工ヘルストン温泉（和・洋5種類有）ビデオシアター・宴会場有

●多目的運動場「ころころ」

ゲートボール、テニス、バウンドテニスが利用可能（全天候対応型）

●新里ふるさと物産センター

新里地区の特産品が勢揃いする直売施設とレストラン。

●リバーサイドハウス ●体験工房「鞭牛窯」

●ポエムの森公園研修センター

駐車場：有（無料）

問合せ：湯ったり館 TEL・0193-72-3800／FAX・0193-72-3801

●開伊川オートキャンプ場

期間：4/1～10/31

問合せ：開伊川オートキャンプ場／TEL.0193-72-3811／FAX.0193-72-3900



厳かな美しさを讃える 海岸線の雪化粧

北風が宮古のまちに冬の訪れを告げる時、陸中の風景は一変する。紺青の大海原にそびえる浄土ヶ浜の奇岩は、二面の銀世界に覆われ荘厳さを増し、訪れる者を圧巻する。また、それに呼応するかのように、田老の

三王岩は各々の登頂が雪に包まれ、奥ゆかしくも個性的な姿をみせてくれる。

宮古の冬は限られた季節にしか見ることのできない、瞬間の芸術を魅せてくれる。



冬の宮古に、たつぷり浸る

鮭・毛ガニ・どんこ…宮古の食は冬も温かい。



黒潮と親潮の潮目にある宮古沖は、三陸漁場の中でも最高の漁場。春は毛ガニ、夏はウニ、秋はカツオ、冬はアワビと、四季を通して獲れたての旬の味が集まってくる。また、その旬の味覚を味わうまつりが催され

るのも、海の幸に恵まれたまちであるからこそ。毎年1月に開催される「鮭まつり」は、まさに冬の宮古の風物詩。荒波をかいぐり身の引き締まった戻り鮭をつかみ捕りし、あら汁を味わえば身も心も芯から

温まる。また、ご当地グルメとして近年注目を浴びるのが、「どんこ」。いたみやすいこの魚は、宮古でなければ味わうことのできない逸品。刺身、姿焼き、そしてどんこ汁…趣向を凝らされた数々の料理には、食材の持ち味を活かし海からの恵みに感謝する人々の思いが込められる。



日本の味秋刀魚

15～18度の最適水温を求め、夏に北上し冬は南下する回遊魚サンマ。書いて字のごとく、もっとも脂ののった秋が食べ頃。



「さけの中骨」缶詰め

鮭は塩焼きや新巻鮭以外にも、加工食品として重宝されている。お土産ものとしても人気がある。



寿司

生の魚を楽しむなら、まずはお寿司。宮古市内にはたくさんの寿司屋があり、水揚げされたばかりの活きのいいネタをそろえている。



ウニ



宮・古・食・彩・紀・行

リアス式海岸となだらかな大陸棚の連なる陸中海岸・宮古は、海の幸の宝庫だ。

一年を通して新鮮な魚介類を味わうことができる。

イクラ



宮古で味わうことができる

旬味旬彩

春

ワカメ・マツモ・フノリ、
ホッキ・シュウリ、マス、
キチジ、モガニなど

ウニ、ホヤ、イカ、
アジ、サバ、
カツオなど

夏

秋

サンマ、マグロ、
カツオ、サケ、
サバなど

アワビやカキ、タラ、
ドンコ、イクラなど

冬



宮古の技



桐下駄

薄紫色を帯びた上品な色合いが独特の質感をもつ南部桐下駄。型づくりから成形までがすべて手作業でおこなわれ、冬は暖かく夏は涼しく履き心地もなめらかだ。



ウニ染め

宮古名産のウニの殻を原料として染めあげられるストールやハンカチ。やわらかな色味と質感が特徴。



組木細工

柔らかみのある白木の風合いと手触りをそのままに。幾つもの木片を組合せ、自由自在につくられる組木細工は、インテリアとしても子供の玩具としても楽しめる。



おみやげ

日本一の生産量を誇るわかめをはじめ、こんぶ、まつも、ふのりなどの海草類やいかやほたてなど、三陸沖から獲れた豊富な魚介類。生鮮品や加工品として流通し、おみやげ用にも人気が高い。

山里の幸



乾しいたけ

清らかな水と澄んだ山の空気をたくさん蓄えたしいたけ。肉厚の柔らかな風味が自慢の逸品。

渓流を自在に舞うアユ

毎年春になると、宮古近郊の川の流域には多くの渓流釣りファンが集う。新里近くの豊かな森林をくぐりぬける清流は、透明度の高い水質と豊富な水量を誇り、天然のアユを芳香ゆたかに育てているのだ。



甘い完熟りんご

芯の部分に花が咲いたような甘い蜜を蓄える新里のりんご。肥沃な土壌と清冽な水に育てられた果実は糖度も高く、色も鮮やかだ。



宮古市中心部にある市場は、いわば宮古市民の台所。世界有数の漁場・三陸沖から水揚げされたばかりの魚介類と地元農家の方々から丹精こめて育て上げた地場物の野菜が所狭しと並ぶ。三十店舗以上もの店舗が軒を連ねる中、威勢のいいかけ声を聞きながら、宮古の海の主役たちに会いにいきませんか。

宮古の産直・市場

宮古の海の王様「鮭」

北太平洋の北緯35度以北に分布する鮭。本州の中でも宮古は随一の漁場として有名で、極上のものが揚がる。

シートピアなど産直コーナー

住所/宮古市臨港通1-20
TEL.0193-71-3100 FAX.0193-71-3011
営業/通年 9:00~18:00 年中無休
販売品/新鮮野菜、果実、きのこ類、団子などの加工品、木工品を販売しています。朝採り野菜が豊富に並んでおります。

田老駅前野菜直売所

住所/宮古市田老字向山 営業/5月~11月
販売品/野菜、果実、山菜、きのこ、花、野菜や花の苗

協同組合宮古市魚菜市場 P25mapD-5

住所/宮古市五月町1-1
TEL.0193-62-1521 FAX.0193-62-1522
営業/通年 定休日/毎週水曜日
販売品/野菜、花、果実、山菜、きのこ、漬物、海産物

水沢野菜直売所

住所/宮古市田老字水沢 営業/4月~11月
販売品/野菜、花、山菜、きのこ、漬物、海産物

産直やませの丘

住所/宮古市田老字重津部34-2
TEL.0193-87-2239 営業/通年
販売品/野菜、花、山菜、果実、山菜、きのこ、漬物、海産物、民芸品

新里ふるさと物産センター

住所/宮古市茂市 TEL.0193-72-3388
営業/通年 定休日/毎週水曜日、12/31、1/1
販売品/新里の特産品が勢ぞろいする生産物直売施設です。北欧風のウッディな建物内には特産物の売店コーナーのほか、レストランも併設しています。人気メニューは、特産のかぼちゃを練りこんだ特製ラーメンや、懐かし度満点の日の丸弁当がつく各種定食です。名物の「あゆ定食」もおすすめ。

摂待駅前直売所

住所/宮古市田老字片巻26 営業/4月~11月
販売品/野菜、花、果実、山菜、きのこ、漬物、海産物、民芸品



海を讃える、熱き祭

郷土芸能に歴史を垣間見る

「夏まつり」

豪快な太鼓演奏が響く、「海の太鼓フェスティバル」、宮古湾内を色鮮やかな大漁旗を飾り付けた漁船が連ねて航行する「曳船祭」などが行われる。鹿子踊り、剣舞、黒森神楽、山口太鼓、あばれ太鼓など沿岸地方独自の伝統的な郷土芸能も披露される。日曜日の夜には盛大な海上花火大会が夜空に咲き、宮古の夏を彩る。

鼓動と躍動と

「秋まつり」

冬の「鮭まつり」に始まり、春には「浄土ヶ浜まつり」、夏には「夏まつり」秋には「鮭、あわびまつり」「秋まつり」といった、陸中の都市ならではの海のまつりが宮古のまちを熱くする。浜のまつりは、何といっても威勢がいい。町中に響きわたるお囃子を合図に、大人も子供もかけ声をあげて祭りの輪と一体になる。一年の恵みに感謝し、来る年への切なる願いを込めた人々の祈りは明日への希望をつないでゆく。

海への感謝

勇壮な船山車と手踊りのパレード運行が行われる秋まつり。威勢のいい掛声が街中に響き渡り豪華な飾り付けが施された10台余の船山車が美しさを競い夕闇を染めると、市民3,000名余による手踊りが披露され、歓喜の熱が街全体を包み込む。



宮古歳時記

1月

3日

宮古鮭まつり

2月

中旬頃

宮古毛ガニまつり

4月

4月29日、5月1・3～5日

浄土ヶ浜まつり

6月

月上旬頃

宮古潮干狩り



7月

中(下)旬 熊野神社例大祭

下旬頃 真崎海岸海開き・うにまつり

最終土・日曜日

大杉神社例大祭

最終土・日曜日

宮古夏まつり

下旬～8月上旬

閉伊川鮎釣り選手権

8月

第3日曜日 黒森神社例大祭

9月

第1土曜日 閉伊川カヌースラローム大会

第1日曜日 閉伊川川下り大会

敬老の日の前土・日

みやこ秋まつり

14・15日 横山八幡宮例大祭

下旬頃 宮古市産業まつり

10月

月上旬頃 秋刀魚づくし

第2日曜日 三陸シーカヤックマラソンin宮古

第3日曜日 新里まつり

下旬頃 鮭定置の網起こし見学体験

11月

第2日曜日 宮古サーモンハーフマラソン大会

下旬頃 鮭・あわびまつり



まちが活気づく

「元祖・鮭まつり」

(1月3日)

宮古の冬の風物詩“鮭まつり”。毎年、10月から1月にかけては、鮭が故郷である宮古の川へとかえる時期に、河川敷で行われる鮭のつかみ捕りは、大人も子供も一緒に楽しめる陸中ならではのイベント。



食と絶景の饗宴

「浄土ヶ浜まつり」

4月末から5月上旬のゴールデンウィークにかけて行われる一大イベント。手こぎボートの無料解放や各種イベントが日替わりで催され、家族連れやグループでも賑わいをみせる。また、雲丹麺(うんたんめん)大試食会などもあり景勝地浄土ヶ浜と海の幸を堪能できる。

スポーツの秋に食も楽しめる

「宮古サーモン・ハーフマラソン」

競技は、ハーフの部、10キロの部、5キロの部、ファミリーの部の4種目で開催。晩秋の宮古路を、潮風に後押しされながら駆け抜けた後は、三陸の海の幸が選手をおもてなし。サンマの塩焼き、鮭汁、鮭ごはんなど、目にも美味しい宮古の幸が勢揃い。



絶品!秋の海の宝石

「鮭、あわびまつり」

11月の田老の旬の味、鮭・あわび。新鮮な海鮭のつかみ捕りと、天然あわび捕りを体験できる海鮮満載のイベント。また、場内では郷土芸能上演、カラオケ大会、海産物等の販売、海鮭のつかみ捕り、天然あわび捕りなどのイベントも盛り沢山。



宮古の歴史と文学にふれる旅

其の壹

賢治と啄木

故郷へのまなざし

イーハトーブめざして
宮沢賢治



賢治が見た、あたたくくすべてを包み込むかのような宮古の浜辺の風景は、今もなお輝きを保ち続けている。

故郷岩手をこよなく愛した宮

沢賢治（一八九六―一九三三）。賢治が宮古の地を訪れたのは、一九一七年の夏。まだ、盛岡高等農林の学生の頃、花巻町有志とともに、工場見学と地質調査を目的とした来訪であった。その際、賢治が詠んだ歌が次の一首。後に珠玉の作品をこの世に生み出した天才の片鱗がみえてくるかのようだ。

うるはしの
海のピロード 昆布らは
寂光のはまに 数かれひかりぬ

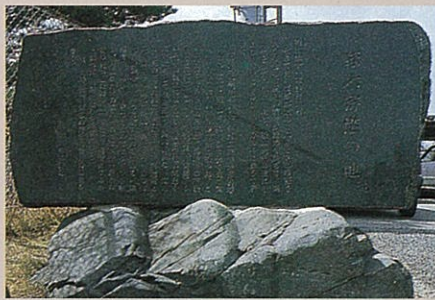


◆ ◆ ◆
哀愁の歌人 石川啄木



人生の深い哀感を歌った天才歌人・石川啄木（一八八六―一九三三）。小学校の代用教員や新聞記者などをしながら郷里や北海道の各地を巡るも、一九〇八年春、文学生

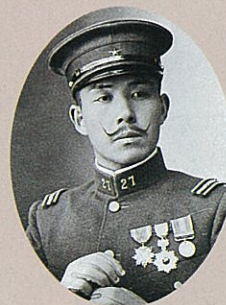
命を賭けるべく船で単身上京をはかる。その途上で寄港したのが宮古港。同年四月六日の啄木の日記には、眼前にひろがる宮古の雄大な景色から受けた情感が鮮明な筆致で記される。（…十時頃、瓦斯が晴れた。午後二時十分宮古港に入る。すぐ上陸して入浴、梅の蕾を見て驚く。蕾許りではない、四方の山に松や杉、これは北海道で見られぬ景色だ。…）かくして、船から眺める宮古の風土は歌人の胸に新たな明日へのささやかな希望のつぼみを宿らせる想い出の地となった。



其の貳

『寄生木』に秘められた

真実を描く文豪・徳富蘆花



『不如帰』などで知られる文豪・徳富蘆花が、明治四十二年に発表した小説『寄生木』。それは、主人公・篠原良平がこの世に生を受けてから二十七歳の若さで自らの命を絶つまでの波瀾の生涯を描いた作品だ。その題材としては、宮古近郊の山口村（現・宮古市山口）にいた実在の人物、小笠原善平の手記がもとになっている。小説の原作者ともいえる小笠原善平は、政敵の陰謀による実父の投獄や、乃木大将の書生として仕えた年月、愛する人、勝子とのことなど、自身の生涯を四十冊の手帳に書き留めていた。善平はこれらを当時の人気作家徳富蘆花に託し小説化を願い出、蘆花はこれを整理・加筆

して小説『寄生木』を完成させた。その序文には、「真の作家は陸中の人篠原良平である」と記されている。後に、宮古に生きた人の思いを後世に伝えるために、善平の菩提寺である慈眼寺の一角に遺品や写真を納める「寄生木記念館」が建てられた。



寄生木記念館
開館／8月のみ
（以外は要予約）
休館日／月・火曜日
問合せ／
宮古市教育委員会
TEL.0193-62-2111

其の参

筆鋒鋭く、 吉川英治

「宮本武蔵」をはじめ、長編約八十編、短編約百八十編にわたる膨大な小説を執筆し、国民文学作家として親しまれる吉川英治。その生い立ちと経歴は波瀾に富むが、一九一〇年（明治四十三年）に『大正川柳』の同人に入り、川柳歌として成功した後は文筆活動に専念した。

吉川が宮古を訪れたのは一九三五年（昭和十年）のこと。日本青年文化協会を設立し、機関紙「青年太陽」を刊行し岩手各地で講演も行った。市内の愛宕小学校にはその際、本照寺に滞在した折に詠んだ歌を刻した石碑がのこされている。

寺を出て
寺まづかへる
盆の月



其の四

唄をこよなく愛した作曲家鳥取春陽

大正から昭和初期にかけて演歌師、そして作曲家として活躍した鳥取春陽。時は、大正初期、流行歌の様風化が始まり、人々が大正ロマンを意識し始めたさなか、洗練されたメロディーと哀愁ただよう歌詞が独特の詩感を創り出し、後に映画化もされた『籠の鳥』がまたたく間に世を風靡した。一九一八年（大正七年）に日本

最初の「レコード会社専属作曲家・歌手」としての地位を築き上げた後は、唄の質的向上と文化的位置の確立、そして何よりも震災後の人々を励ますために同士と結束し、その宣伝活動に奮迅した。



それでも唄を愛し続け、絶え間なく溢れ続けた早熟な青年の情熱は、演歌・新民謡・歌劇・ジャズと幅広いジャンルにわたる才能を発揮させ、三〇〇〇曲以上にも上る作品を世に送りだした。

其の伍

信じ続けた一筋の道 牧庵鞭牛和尚

一七〇一年（宝永七）に宮古市和井内で生まれた鞭牛。

同時に生命の危険を伴うものであった。

一七三三年に出家の道を志した後、その生涯をかけて盛岡―宮古間の閉伊川沿いの道路の開さくに挑み続けた。その距離は、今の時代でおよそ百八キロメートルにも及ぶものであった。

市井の中、日々の生活を危惧する村人の声を耳にしていた鞭牛は、出家から二十年後の四十二才の時、道路の開さくに生涯を捧げる決意をする。

当時、道という道は、洪水等の自然災害があると事ある毎に行き止まりとなり、人や荷車の往来を妨げると

その誠実な人柄は指導者としての鞭牛の立場を揺るぎないものとした。数々の飢饉や、困難に面しても臆することなく立ち向かったそ



の勇姿は、何よりも人々の誇りとなり支えとなった。新里生涯学習センター「玄翁館」には、当時使われていた「つるはし」などが残り、今も人々の尽きせぬ努力の跡を残している。

其の六

夢のあとさき 宮古港海戦記念碑



宮古港における海戦は、一八六八年（慶応四年）に始まった「戊辰戦争」に端を成す。

日本が大政奉還から、明治維新により新たな近代国家への歩みを始めた折、新政府に対する抵抗勢力がのろしをあげる。筆頭は、榎本武揚を指揮官とする旧幕府軍。幾つもの戦いを経た後、函館の五稜郭に籠城し独自の政権を樹立するに至る。

猶も各地で衝突を繰り返して後、一八六九年三月（明

治二年）に政府軍は旧幕府軍の討伐にかり、戦いの火ぶたは切つて落とされた。なかでも、函館に向う途中、宮古港で繰り広げられた激突は、まさに、後の日本の行く末を暗示するかのような海戦となった。

停泊中の新政府軍の艦隊に、旧幕府軍の「回天」が、たつた二隻で決死の戦いを挑み、新政府軍のガットリング機関銃の応戦に遭い敗北を記す…。碑は、戦死者の勇姿とささまざまな思いを、ここに深く刻んでいる。

義経北行伝説



●吉内屋敷跡 P25mapD-2

義経に従った忠臣、金売吉次・吉内・吉六の三兄弟の内の吉内がかまえた屋敷跡と伝えられています。

場所：田老字新田



●横山八幡宮 P25mapD-5

義経主従が参詣し、宿泊したとされる。家臣の一人、鈴木三郎重家がここに残留し名を重三郎と改め神主となったと伝えられる。

(鎮座地) 〒027-0052 宮古市宮町二丁目五番一号(旧社格 郷社)



●黒森神社 P25mapD-4

「黒森」の名前の由来は義経にちなみ「九郎」から転じたといわれる。ここにおいて、主従は3年3ヶ月にわたって籠り行を修め、般若經六百巻を写経して奉納したといわれている。

場所：宮古市黒森町



●判官稲荷神社 P25mapD-5

黒森山での修行を治めた後、更に北へと向かった義経主従のとくを偲び、その甲冑を埋めた場所に祠が建立されたといわれています。祭神には義経が祀られています。

場所：宮古市沢田



鎌倉幕府の初代将軍源頼朝の弟として生まれ、幼少の頃から武芸に秀でたといわれる伝説の英雄源義経。公家社会が武士社会へと劇的な変貌を遂げる中、各地で戦火ののろしをあげた「源平合戦」を名実ともに勝利へと導いた立て役者でもある。ところが、兄弟間の確執や武士社会

の陰謀により、当時、藤原氏一族が平泉に栄華を誇る北の都・平泉で幼少時代を過ごした義経。数々の劇的な戦法で勝利を取って後、その偉業が脅威とみなされ兄・頼朝や幕府に不遇され、再び縁の深い奥州へと下る運命に翻弄される。北へ向かう道の各所には、義経一行が立ち寄ったと伝

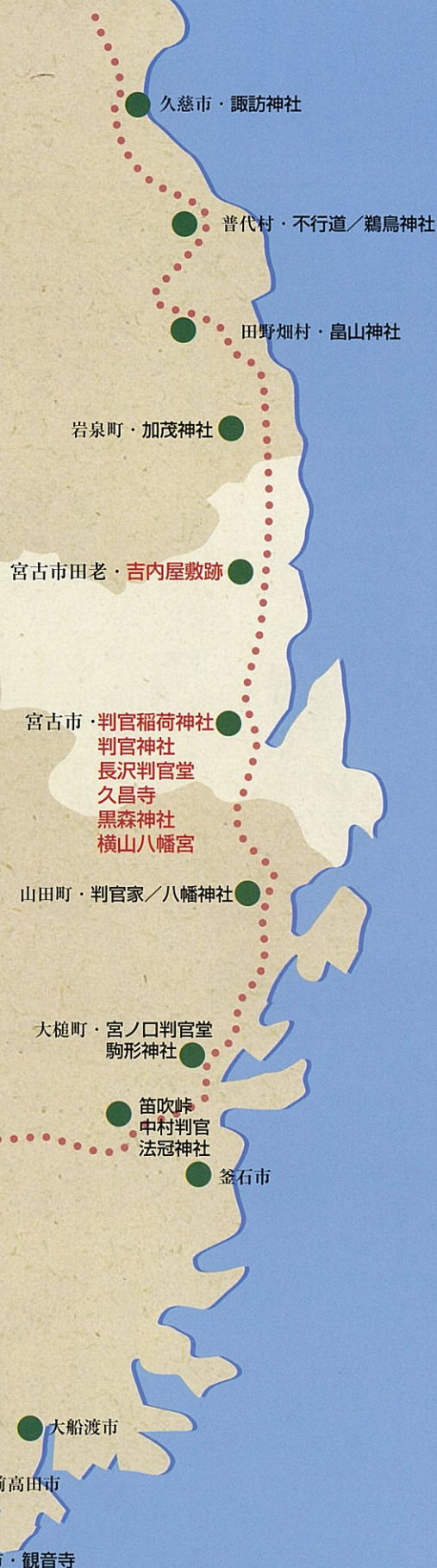
えられる寺社や遺品が、今もなお数多く残されている。義経最期の地といわれる奥州。その命の灯が果てた後も、義経とその二行の姿に心打たれた人々は、彼等が追手を逃れ北海道に渡ったと、まことにやかに伝える。八〇〇年以上もの時空を越えて、一人の武士が夢見たものは…。



●久昌寺 P25mapC-3

源氏の一族、源義里が居を構えていたとされる地。義経主従が立ち寄ったとされる。

場所：宮古市田代





タラソテラピー施設

●アクアプール(多目的機能プール)、エアロゾル、トレーニングルームほか
※ご利用料金で利用できます。

●タラソプログラム※別料金が必要です。

ご利用料金

大人(中学生以上)1回700円 小人(小学生以下)1回350円

【営業時間】月～土曜日/9:00～21:00 日曜日/9:00～20:30

問合せ先

タラソ館

TEL 0193-71-3131 FAX 0193-71-3021

広域総合交流促進施設

1階

- 物産販売コーナー ●特産品などの販売コーナー
- マルチビジョン ●インターネットコーナー

2階

- レストラン汐菜(しおさい) ●体験学習研修室
- 研修ホール

【営業時間】物産販売(1階) 9:00～18:00

レストラン汐菜(2階)

8:00～10:30(月～土曜日【都合により休みの場合あり】)

10:30～20:00(月～金曜日【冬期間12月～3月は18:30まで】)

11:00～20:00(土・日・祝日【冬期間12月～3月は18:30まで】)

問合せ先

シートピアなあとど

TEL 0193-71-3100 FAX 0193-71-3011 unineko@seatopia.jp



浄土ヶ浜レストハウス

P25mapD-4

コバルトブルーと白砂の対比の美しい、
浄土ヶ浜の絶景を眺めながら食事を楽し
むことができる観光スポット。



海のアイス

宮古沖約40キロ、水深1千mから
取水した三陸沖海洋深層水入り
アイスクリーム。「甘さの中にほ
んのり塩味を感じるさわやかな味」
が海を感じさせる。

休暇村陸中宮古

P25mapE-4

変化に富む陸中海岸の奇岩地帯、姉ヶ崎にそびえたつ休暇村。周囲を
緑に覆われ、眼前には見渡す限りの青い海がひろがる。日の出スポットと
しても人気。



おもてなし料理

休暇村の一番の魅力は、何といても
陸中の旬の食材を豊富に使った陸中会
席料理。新鮮な素材の風味を堪能できる。

岩手県立水産科学館

P25mapD-5

全国初の水産専門の科学館。ここでは、パネルや
模型で岩手の伝統漁法や養殖技術に始まり、漁
場の歴史や文化が分かりやすく展示されている。



グリーンピア田老

P25mapD-1

約4haの敷地に広がる陸中の広大なリゾート、グリーンピア田老。豊富な各
種レジャー施設と、全室オーシャンビューの客室から見渡す景色に、心身と
もに満たされる。



宮古で
体験2

海・川・山・里で遊ぶ、感じる

ありのままの
自然に出会える
しあわせ

アクティブに遊ぶなら、海でのシーカヤックや川でのカヌー体験。風土の特色をじっくり探究するなら、里での木工品づくりやそば打ち体験。様々な体験から自然を満喫できます。

海

で漁業やクルージング体験

●ワカメ、めかぶ作り、塩鮭づくりと洋上遊覧

小型遊覧船(漁船)で、田老地区の雄大な海岸美を堪能。また、穫れたてのワカメの加工やめかぶづくり、塩鮭づくりなどの季節ならではの体験を楽しめる。

- ・期間/ワカメ、めかぶ作り(3/15~4/10)、塩鮭づくり(10/1~12/10)、洋上遊覧(5~10月)
- ・料金/ワカメ、めかぶ作り、洋上遊覧 1,000~2,000円、塩鮭づくり 3,500円
- ・人数/2~30人 ・予約/3日前
- ・場所/田老ふるさと物産センター、田老沖

●シーカヤック教室

専門インストラクターによる陸の上での基礎講習を行った後、海へ。潮風を感じながら、宮古湾の自然が織り成す風景を楽しむことができる。

- ・期間/4~12月 ・料金/1,000円 ・人数/10人以上
- ・予約/7日前 ・場所/宮古湾

●クルージング体験

時速40ノット以上のスピードで三陸の海をめぐるクルージング体験では、スリルと爽快感を味わうことができる。

- ・期間/4~10月 ・料金/湾内1,500円・外洋3,000円 ・人数/5人以上
- ・予約/3日前 ・場所/宮古湾

●養殖体験(ワカメ・コンブ)

ワカメ・コンブの養殖を体験。海で働く楽しさと、海で生きるための知恵と工夫を知ることができる。

- ・期間/1月~6月 ・料金/1,500円 ・人数/5人以上
- ・予約/7日前 ・場所/宮古湾

●カキむき・ホヤづくり体験

養殖の方法から食べ方まで、カキとホヤにまつわる色々なことを学びながら体験できる。

- ・期間/カキ3~5月、ホヤ5~10月 ・料金/カキ1,500円、ホヤ1,000円
- ・人数/カキ20~50人、ホヤ10人以上
- ・予約/7日前 ・場所/カキ:赤岸岸壁又はシートピアなあと/ホヤ:白浜岸壁

●トレッキング

重茂半島に位置する月山までの道のりは、森林浴や自然観察ができる最適なトレッキングコース。月山展望台からは、浄土ヶ浜や宮古湾などの海岸美が一望できる。

- ・期間/4~11月 ・料金/500円 ・人数/10~40人
- ・予約/7日前 ・場所/月山コース(10km)

●三陸海岸トレッキング

和泉雅子北極点遠征隊等に参加した案内人(環境カウンセラー)が、三陸海岸をトレッキング指導。自然とのふれあいを楽しみながら地球環境について考える。

- ・期間/通年 ・料金/1,500円(半日コース)、2,000円(1日コース)
- ・人数/5~40名 ・予約/3日前 ・場所/三陸海岸(浄土ヶ浜~田老)

●シーカヤック体験

海面を軽快に動く事ができる爽快感と、海岸美を楽しむことができるシーカヤック。美しい入り江や洞窟を巡るコースなどもある。

- ・期間/7~8月 ・料金/1,000円 ・人数/1~15人
- ・予約/3日前 ・場所/中の浜キャンプ場

●シーカヤック・クルーザー体験

インストラクターの指導のもと、シーカヤックまたはクルーザーで宮古湾を周遊。

- ・期間/5~10月 ・料金/シーカヤック 半日3,000円・1日5,000円、クルーザー5,000円(いずれも保険料込み) ・人数/1~10人
- ・予約/3日前 ・場所/宮古湾

●魚貝類のさばき方と調理体験

旬の魚貝類を使って、さばき方から調理方法まで実際に体験しながら学ぶことができる。試食コースでは、調理した魚貝類をその場で食べることができる。

- ・期間/通年(5.7.8月、正月を除く)
- ・料金/持ち帰りコース1,500円~、試食コース2,000~(御飯、味噌汁付)
- *使用する素材によって変わる場合があります
- ・人数/5~20人 ・予約/3日前 ・場所/民宿たかえい内魚魚(とと)屋敷

●うみねこの餌付け・洋上観察

天然記念物のローソク岩、潮吹穴、日出島などを洋上から観察。船の周りに飛び交うウミネコへの特製「うみねこパン」の餌付けが楽しめる。

- ・期間/通年 ・料金/大人1,220円、小人610円、うみねこパン1個100円(船内販売)
- ・人数/1~400人 ・予約/15分前 ・場所/宮古湾

●本州最東端鯉ヶ崎見学

映画の舞台ともなった本州最東端鯉ヶ崎。地元漁師さんの案内で美しい海岸線と灯台を眺めながらのクルージングが楽しめる。

- ・期間/4~11月 ・料金/1艘片道5,000円・往復10,000円
- ・人数/3~7名 ・予約/7日前(悪天候、中止の場合有) ・場所/鯉ヶ崎沖

里山で暮らし体験

●リンゴ栽培体験

自分の手でリンゴを直に収穫できる。また、季節によってさまざまな体験も可能。

剪定作業(枝切り) 2~3月/花摘作業(花の間引き) 5月/摘果作業(実の間引き) 6~7月/収穫作業(9~11月)
・期間/2~11月 ・料金/大人2,000円、小人1,000円
・人数/1~10人 ・予約/5日前 ・場所/南澤果樹園

●カヌー体験

清流として名高い閉伊川でカヌー技術の基礎を学ぶことができる。周辺の山々や川辺の風景を楽しみながら、自然との一体感を得ることができる。

・期間/7~9月に8回開催
・料金/体験コース2,000円(1回)、基本技術習得コース8,000円(全8回)
・人数/1~10人 ・予約/3日前 ・場所/閉伊川

●きび粉の「どんこっこ」づくり

魚のどんこを型取ったダンゴを作る。出来上がったダンゴを抹茶と一緒に試食できる。

・期間/通年(5.7.8月、正月を除く) ・料金/1,500円
・人数/5~20人 ・予約/3日前
・場所/民宿たかえい内魚魚(とと)屋塾



●そば栽培・そば打ち体験

そばの種まきから収穫までの一連の作業体験と、毎回そば打ち講習を行い自分の打ったそばが食べられる。つなぎを使わない十割そばは、そば本来の風味と、独特の味が楽しめる。

・期間/7~11月に4~5回開催
・料金/2,000円(回) ・人数/1~30人
・予約/7月に募集
・場所/和井内ふさと会館

●マタギ料理・渓流釣り・磯釣り・山歩き体験

マタギ料理は、キジやクマなど、普通では味わえない野趣あふれる味覚が楽しめる。また、磯釣り体験では、白波を間近に、迫力あるロケーションのもと釣りが楽しめる。山歩きでは、山菜やキノコ狩りを楽しみながら自然を満喫できる。

・期間/マタギ料理(通年)、その他要問い合わせ
・料金/マタギ料理2,500円、その他要相談
・人数/1~10人 ・予約/3日前
・場所/マタギ料理食体験は悠々亭、その他は宮古地域

技を知る工芸品をつくる体験

●陶芸体験

「湯ったり館」やオートキャンプ場に隣接する鞭牛窯では、カップや茶碗などの鞭牛焼が体験できる。ゆっくりとした時間の中で、自分だけのオリジナル茶碗を作ることできる。

・期間/4~12月(第2土曜日・第4日曜日は予約なしで1人から受入れ可能。5人以上の予約であれば随時受入れ可能)
・料金/1,260円 ・人数/1~15名
・予約/3日前 ・場所/鞭牛館(湯ったり館隣)

●木工体験・トレッキング

木工教室では、北上高地のけやきなどを用いて、ついで、テーブル、花台などの制作体験ができる。トレッキングでは四季折々の自然散策が楽しめる。

・期間/通年
・料金/木工体験3,000~50,000円、トレッキング1,000円
・人数/木工体験1~5人、トレッキング15~100名
・予約/7日前 ・場所/木工体験:リアス観光(株)内木工所、トレッキング:三陸海岸(宮古市)

●ハーブ石鹸・ハーブ染め・ドライフラワーリースづくり

6月~10月は、ハーブ畑で実際にハーブに触れて、見て、楽しみながら、石けんやハーブ染め、ドライフラワーリースづくりなどを体験できる。

・期間/通年 ・料金/ハーブ石鹸づくり1,000円、その他1,000~2,000円 ・人数/5~30人
・予約/10日前 ・場所/宮古市八木沢農村センター

●竹細工体験

竹とんぼやスプーンなど簡単なものから、一輪挿しのような竹細工まで制作できる。

・期間/通年 ・料金/500円~ ・人数/1~30名
・予約/7日前 ・場所/宮古市内の施設

●夢入り缶づくり

水産科学館で提供するオーストラリアの白い砂等と一緒に、自分の入れたい物やメッセージを缶に入れ、オリジナル缶詰を製作できる。

・期間/通年(月曜日定休) ・料金/無料
・人数/1~30人 ・予約/なし
・場所/岩手県立水産科学館

●ワカメの芯抜き体験

海から収穫したワカメを、葉と芯に分ける作業を体験。ワカメは体験後、持ち帰ることができる。

・期間/通年(月曜日定休) ・料金/300円
・人数/20~30人 ・予約/3日前
・場所/岩手県立水産科学館

●ホタテ貝の絵付け

ホタテ貝の内側に絵の具で絵を描く体験ができる。

・期間/通年(月曜日定休) ・料金/無料
・人数/1~20人 ・予約/なし
・場所/岩手県立水産科学館

●鉄道教室

三陸鉄道で列車の旅を楽しみながら「鉄道」と「交通」について学習し、さらに車両基地や指令センターを見学しながら、鉄道の業務についての学習や模擬的な車掌業務なども体験できる。

・期間/通年 ・料金/2,000~3,000円 ・人数/10~40人
・予約/7日前 ・場所/三陸鉄道

●うに染め体験

宮古でしか体験できない「うに染め」です。

・期間/通年 ・料金/大人2,600円、小人1,000円(大人同伴のこと) ・人数/10~30人 ・予約/1ヶ月前
・場所/宮古市内の施設



宮古の宿泊施設のご案内

宿泊予約・お問い合わせは下記案内所へ

宮古市旅館ホテル案内所(62) 4060

宮古市民宿案内所(62) 3574

	旅館・ホテル	住 所	収容	電 話
①	旅 館 未 広 館	未広町7-27	56	62-1555
②	阿 部 旅 館	鴨崎町1-66	20	62-4832
③	晃 生 館	大通3-6-3	24	62-1362
④	山 田 屋 旅 館	大通3-6-51	50	62-3155
※⑤	ホテルビッグウェーブ	大通3-5-20	41	63-5533
⑥	山 田 屋 別 館	大通4-3-12	25	62-4133
⑦	幸プラザホテル	保久田3-3	30	62-4427
⑧	八 木 旅 館	保久田7-1	27	62-4019
⑨	佐 藤 旅 館	横町4-13	15	62-2439
⑩	沢 田 屋 新 泉 閣	黒田町7-2	70	62-3753
⑪	旅 館 志 乃 多	大通3-2-1	55	62-1055
⑫	宮古ホテル沢田屋	新町4-1	174	62-7711
⑬	宮古セントラルホテル熊安	新町2-5	115	64-2121
⑭	昭 和 館	築地1-1-1	30	62-2464
※⑮	プチホテル海幸園	磯ヶ崎上町1-5	124	65-1511
⑯	浄土ヶ浜パークホテル	日立浜町32-4	400	62-2321
⑰	浄 土 ヶ 浜 旅 館	光岸地4-9	15	62-1319
⑱	摂 待 旅 館	藤原1-8-8	30	62-8146
⑲	日 昇 館	磯鶏石崎4-17	50	62-4637
※⑳	ペンション日昇館	磯鶏沖11-21	15	62-8331
㉑	ホ テ ル 近 江 屋	磯鶏1-1-18	225	62-3660
※㉒	ホテルベイ・ミヤコ	藤の川15-30	38	63-4025
※㉓	松 の 屋 旅 館	津軽石5-58-1	26	67-2820
㉔	朝 日 屋 旅 館	赤前5-117	20	67-2932
※㉕	宮古ステーション古窯	和見5-1	99	63-2001
※㉖	中 済 旅 館	大通3-6-9	22	62-3496
公 共 の 宿 住 所 収容 電 話				
㉗	休暇村陸中宮古	崎跡崎18-25-3	202	62-9111
※㉘	宮古港湾労働者福祉センター	藤原3-114	28	62-0145

	民 宿	住 所	収容	電 話
㉙	治 郎 兵 衛 家	崎山5-48	70	62-7150
㉚	正 次 郎 家	崎山5-27-1	55	62-7907
㉛	み か ず 家	崎山5-31-1	35	63-3906
㉜	若 宮 荘	崎山3-96-3	20	63-3837
㉝	マリンハウス	崎山3-95-4	40	62-1885
㉞	た か え い	日立浜町8-6	50	63-2776
㉟	お お す か	日立浜町6-22	16	62-3947
㊱	み か わ	磯鶏石崎10-14	20	62-7871
㊲	シーサイドハウス海幸園	白浜2-35	121	67-3322
㊳	お と べ 荘	音部10-13-3	25	68-2347
㊴	鯉ヶ崎 荘	重茂10-23-1	16	68-2416
㊵	ふる や し き	重茂20-12-4	15	68-2356

※⑤⑬⑯⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖については
直接各旅館・ホテルにお問い合わせください。

田老地区の宿泊施設のご案内

宿泊予約・お問い合わせは下記案内所へ

(⑥ 高末は直接お問い合わせください)

田老観光協会0193(87) 2050

	旅館・ホテル・民宿	住 所	収容	電 話
①	お ば	田老野原60-2	60	87-2631
②	か わ と 屋	田老館が森96-1	40	87-2415
③	善 助 屋 支 店	田老川向125	16	87-2651
④	丸 仙	田老乙部38	50	87-2076
⑤	鮎 食 の 宿	丸仙 田老野原77	25	87-2105
⑥	高 末	田老荒谷4	30	87-2938
⑦	グリーンピア田老	田老向新田148	300	87-5111
⑧	サンオーエンヴィラ	田老西向山121-6	70	87-3300
⑨	たろう観光ホテル	田老野原80-1	150	87-2001

新里地区の宿泊施設のご案内

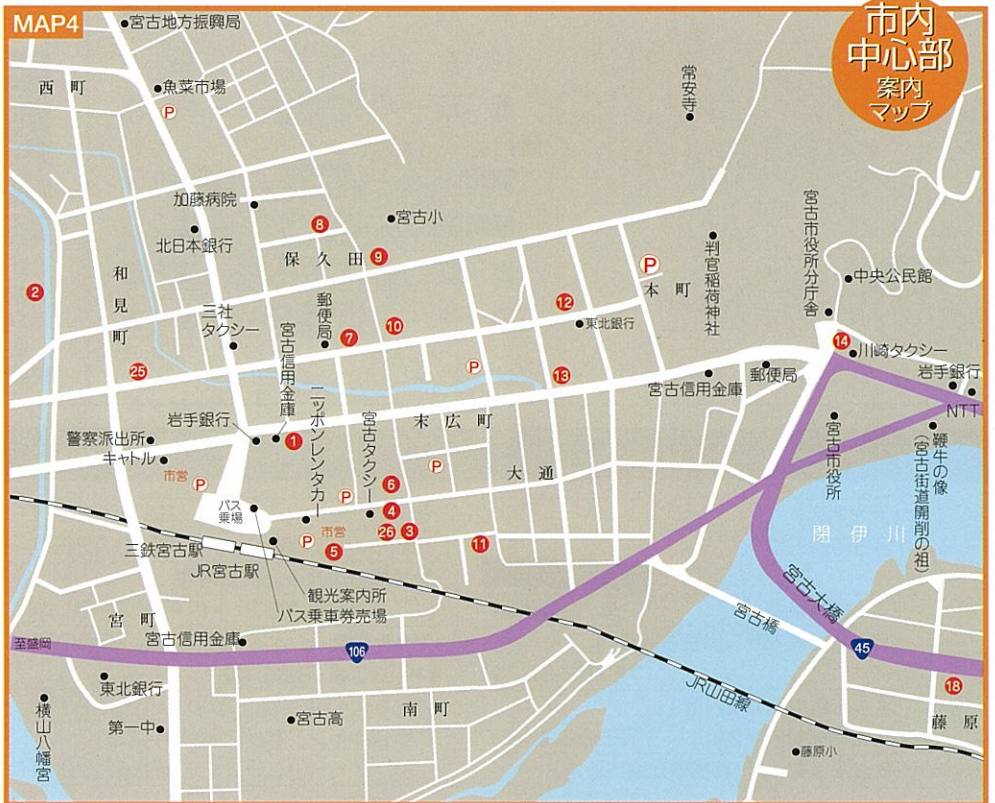
宿泊予約・お問い合わせは各施設に直接お問い合わせください。

	旅館・ホテル・民宿	住 所	収容	電 話
①	湯 っ た り 館	茂市8-53	40	72-3800
②	野 崎 旅 館	茂市3-176-1	10	72-2004
③	茂 市 屋 旅 館	茂市3-212-1	20	72-2411
④	門 坂 旅 館	刈屋11-107-3	9	72-2373



キャンプ場

夏から秋にかけては、宮古の大自然を心ゆくまで満喫できる絶好の季節。「中の浜キャンプ場」や「姉吉キャンプ場」でのアウトドアレジャーを楽しんでみよう。



宮古ビジターセンター

P25mapD-5

姉ヶ崎の休暇村陸中宮古に隣接。陸中海岸に暮らす人々と自然との豊かなふれあいをテーマにした展示が行われている。



■飛行機			
札幌	約55分	花巻	巻
名古屋	約1時間10分	花巻	巻
大阪	約1時間20分	花巻	巻
福岡	約1時間55分	花巻	巻
■JR			
東京	約2時間30分	盛岡	盛岡
盛岡	約2時間10分	宮古	宮古
花巻	約2時間	釜石	釜石
釜石	約1時間20分	宮古	宮古
■自動車・バス			
浦和I.C.	約505km	盛岡南I.C.	盛岡南I.C.
盛岡南I.C.	約100km	宮古	宮古
東京	約10時間	宮古	宮古
盛岡	約2時間10分	宮古	宮古

周辺観光



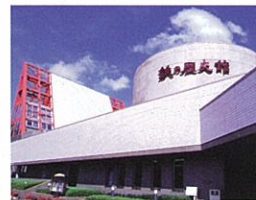
龍泉洞(岩泉町)
透明な水をたたえる地底湖と鍾乳洞の織り成す神秘世界。
【アクセス】宮古-岩泉町間、車で約1時間10分



北山崎(田野畑村)
200mの切り立った断崖が8kmに渡って連なる様子はまさに圧巻。
【アクセス】宮古-田野畑村間、車で約1時間



遠野ふるさと村(遠野市)
古きよき時代の営みを今に伝える場所。
【アクセス】宮古市-遠野市間、約1時間25分、遠野駅から車で約25分



鉄の歴史館(釜石市)
釜石に花開いた栄光の製鉄の歴史を学ぶ。
【アクセス】宮古-釜石間、車で約1時間、釜石駅から車で約10分

宮古市内観光お問い合わせ

市外局番:0193

【観光関係】

・宮古市観光課	TEL.62-2111 FAX.87-3674
・宮古観光協会	TEL.62-3534
・宮古観光案内所(JR宮古駅構内)	TEL.62-3574
・宮古旅館ホテル案内所(宮古観光案内所内)	TEL.62-4060
・宮古民宿案内所(宮古観光案内所内)	TEL.62-3574
・浄土ヶ浜レストハウス	TEL.62-1179
・浄土ヶ浜マリナハウス	TEL.63-1327
・浄土ヶ浜ターミナルビル	TEL.62-9955
・浄土ヶ浜観光船陸中丸	TEL.62-3350
・岩手県立水産科学館	TEL.63-5353
・道の駅みやこシートピアなあと	TEL.71-3100
・魚菜市場	TEL.62-1521
・田老総合事務所産業振興課	TEL.87-2111 FAX.87-3667
・田老観光協会	TEL.87-2050
・道の駅たろう	TEL.87-2239

・田老観光センター	TEL.87-2611
・田老ふるさと物産センター	TEL.87-2891
・新里総合事務所産業振興課	TEL.72-2111 FAX.72-2116
・湯ったり館	TEL.72-3800
【キャンプ場・海水浴場】	
・姉吉キャンプ場(管理人木村)	TEL.68-2316
・中の浜キャンプ場(休暇村陸中宮古)	TEL.62-9911
・野外活動センターキャンプ場(市教育委員会)	TEL.62-2111
・浄土ヶ浜・女遊戸海水浴場(市観光課)	TEL.62-2111
・沼の浜キャンプ場(田老観光協会)	TEL.87-2050
・真崎海岸海水浴場(田老総合事務所)	TEL.87-2111
・閑伊川オートキャンプ場	TEL.72-3811
【公共交通関係】	
・JR宮古駅みどりの窓口	TEL.62-1734
・JR宮古駅旅行センター	TEL.63-6010

・三陸鉄道宮古駅	TEL.63-7727
・三陸鉄道お問い合わせ	TEL.62-7000
・岩手県北バス宮古営業所	TEL.64-6060
・岩手県北バス駅前案内所	TEL.62-3620
・三陸鉄道田老駅	TEL.87-2611
【タクシー】	
・川崎タクシー	TEL.62-3337
・三社タクシー	TEL.62-4321
・マルヨシタクシー	TEL.64-1212
・宮古タクシー	TEL.62-6615
・クボタタクシー	TEL.67-2121
・津軽石タクシー	TEL.67-2323
・田老タクシー	TEL.87-2662
・真崎タクシー	TEL.87-2727
【レンタカー】	
・駅レンタカー宮古案内所	TEL.63-7727
・トヨタレンタリース岩手宮古店	TEL.64-0100
・宮古観光ドライブ倶楽部	TEL.62-2205
・ニッポンレンタカー宮古営業所	TEL.63-8195

県関係事務所

■岩手県観光経済交流課	盛岡市内丸10-1	TEL.019-651-3111
■岩手県観光協会	盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス3階	TEL.019-651-0626
■北東北観光センター	盛岡市盛岡駅前通1-48 JR盛岡駅2階	TEL.019-625-2090
■岩手県観光協会東京案内所	東京都中央区銀座5-15-1 南海東京ビル1階	TEL.03-3524-8289
■北東北3県北海道合同事務所	札幌市中央区北1条西2-2-1 北海道経済センター4階	TEL.011-241-2332
■北東北3県大阪合同事務所	大阪市北区梅田1-3-1-900 大阪駅前第一ビル9階	TEL.06-6341-3258
■北東北3県名古屋合同事務所	名古屋市中区栄4-1-1 中目ビル4階	TEL.052-251-2801
■北東北3県福岡合同事務所	福岡市中央区天神2-8-34 住友生命福岡ビル1階	TEL.092-736-1122

観光ガイドブックに関するお問い合わせ

宮古市産業振興部観光課

〒027-8501 岩手県宮古市新川町2-1
TEL.0193-62-2111 FAX.0193-87-3674

e-mail kanko@city.miyako.iwate.jp ホームページ <http://www.city.miyako.iwate.jp/>

R100

古紙配合率100%白色度70%再生紙を使用しています。